

# 中小企業ぎふ

2016 2017

12・1

Vol.646

2017年1月25日発行

～ 立ちあがろう中小企業、日本のために ～



織り機(イメージ)

クローズアップ企業  
2～3

美濃織物工業  
協同組合  
組合員

「ギフメン株式会社」



- 会員組合紹介 4
- 先進組合事例紹介 5
- 中央会の活動 6～8
- Pick Up情報 9
- 組合等の活動 10～11
- 12月の景況レポート 12～13
- 職員レポート 14
- インフォメーション 15
- ジェトロ岐阜からのお知らせ 16～17
- 年賀広告 18～22

“組合のニーズに応えるパートナー・中央会”

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号 ふれあい福寿会館9階  
TEL 058 - 277-1100(代) FAX 058-273-3930  
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

# クローズアップ企業

## ギフメン株式会社

【美濃織物工業協同組合・組合員】

《企業概要》 岐阜市茜部野瀬2丁目11番地  
ギフメン株式会社 代表取締役 高沢 一  
<http://www.kasamatsu.or.jp/shop/gifumen/>



当組合は、明治29年10月に「岐阜県美濃縞組合」として誕生し、昭和12年から16年における県下組合の統合時代を経て、昭和22年に美濃織物工業協同組合となりました。

当地（羽島市や笠松町等）では、木綿の織物「美濃縞（みのじま）」が盛んに生産されていました。そして、昭和初期の戦時下における繊維統制時代を経て、戦後は欧米の影響を受けて織物研究が進み、織物も多様化したことで、綿織物、スフ織物、化合織物、毛織物、絹織物等の服地やインテリア関係の織物が隆盛を誇るようになりました。

現在、織物業界は厳しい経営環境や経営者の高齢化等により苦戦を強いられています。120年という組合の歴史と伝統を守り、織物の匠として力強い機音を絶やさぬよう頑張っています。

そこで、明治30年の創業で、ファッション服地を企画生産し、仕入先も販売先も超一流が自慢の「ギフメン株式会社」を訪問し、高沢一社長にお話をうかがってきました。

### ◎御社のこれまでの沿革について ご紹介ください。

#### ☞ 高沢社長

羽島市や笠松町では、江戸から明治にかけて着物の生地となる「美濃縞」の生産が盛んだったこともあり、明治30年に高島勇太郎氏が当社のルーツとなる「高島商店」を笠松町で創業しました。そして、昭和12～13年頃に私の父が高島商店で働き始め、その後、開店休業を余儀なくされた太平洋戦争を経て、再び織物産地として動き始めた昭和26年1月に、父が高島氏と地元有力者の伊藤新一氏と共に綿織物を行う「岐阜綿業株式会社」を設立しました。



高沢一社長

当社は、創業から尾州産地に点在していた機屋を取りまとめて服地を生産する各種織物製造卸商社として成長してきました。いわゆる産元商社という形態です。尾州は美濃縞で発展してきましたが、昭和30年代頃より多くの機屋が毛織物へとシフトする中で、当社では合成繊維のテトロン（アメリカ発祥で、日本で改良した織物素材）やレーヨンを扱い始め、毛織と比べて強いという特徴からボトム素材として人気となり、業績は飛躍的に伸びました。

私は昭和49年に入社しましたが、繊維産業は日本経済と比例するように成長を続け、1990年代初頭までは百貨店等に並ぶアパレル商品の9割以上が国産品でした。ただ、バブル崩壊を境に潮目が変わり、安価な輸入品が増えたことで、機屋などが軒並み減少していき、今では店頭で並ぶ殆どが輸入品となっています。当社でも昭和50年代

後半に40名近くいた社員が9名にまで減りました。しかし、全員が織物の専門家であるという強みを活かした商売で、厳しい時代を乗り切っています。

### ◎御社の特徴や方針を 教えてください。

#### ☞ 高沢社長

当社はファッション服地を企画生産する会社です。名古屋や大阪、東京の一流商社を経由して、ヤング及びヤングミセス、メンズカジュアル対象の素材をアパレル業界に送り出し、製品化しています。創業は古いですが、社員の感覚は新しく、仕入先も販売先も超一流が当社の自慢です。当社の生産工程を簡単に説明すると、発注先との間で決定した服地に必要な糸を仕入れて糸染めを行い、素材の風合いによっては撚糸工程等をプラスします。そして、生産指図に基づいて機屋に製織してもらい商品となります。複数の工程が絡むため、協力会社のサポートが無ければ完成に至らないので、本当に感謝しています。

当社の特徴は、先染めのチェック柄生地が得意という点です。美濃縞で培われた多種の色を使い分ける織物技術がこの地域には蓄積されていて、当社が今あるのはこの部分だと思っています。小さな会社が生き残るには得意な分野を作り、それを活かしたモノづくり



糸などが保管された倉庫

をすることだと思えます。当社は、社員一人一人がプロとしての自覚を持っており、発注先からオーダーされる素材の企画デザインを行う際も、市場調査と綿密なデータ収集を行い、そこに“個性”と“感性”をプラスして新しい商品を創造しています。

## ◎組合に期待することは何ですか？

### ☞ 高沢社長

織物産地として発展してきた尾州において120年という歴史がある当組合ですが、組合員が減少していく中で、今後どうしていくべきか、どう活性化して行ったら良いのかが分からないというのが正直な感想です。全国の織物産地が疲弊している状況にあって、当組合も400を超える組合員がいた時代から10分の1以下になり、構成員の商売規模も縮小していることから、何をしたら良いか有効な手段が見つからないまま時が過ぎている感があります。

私も近年は組合活動に協力できていませんが、組織の重要性は理解しています。特に織物業界は、数は減りましたが機屋の集合体であり、小規模で経営している所が殆どです。こうしたことから、業界を束ねる組合組織には牽引役としての役割を期待しています。幸いにも当組合には先人が残してくれた幾らかの資産が残っているので、業界を託していく次代の後継者や意欲のある者のために有効に使えたらなと思っています。

## ◎経営をしていく上で大切にしていることを教えてください。

### ☞ 高沢社長

私が経営者として大事にしていることを一言で言えば「信用」です。信用が一番大切だと思っています。“人”から信用されなければ社長業は務まりません。“人”とはお客様は勿論、取引先や従業員、友人など自分が関わる全ての人です。そのため信用を損なうこと、例えば約束した事を守らない、支払関係が遅れるといった行為はしません。当社の商売は相対が基本です。ギフメンだから取引すると言ってくれる相手と商売をしているので、従業員にも人間性を磨くようにと伝えています。



企画生産した服地が並ぶ商品棚

当社は、織屋が無くなったなら商売が出来なくなります。よって、産地を残すため受注先には提示値よりも少し高く買って欲しいとお願いしています。

そして、高く買ってくれた分を織屋や糸染屋などに還元していき、繊維産業が儲かる業界になれば、若い人達が参入してくれるはずで。

## ◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

### ☞ 高沢社長

最近、百貨店の衣料品客離れが顕著になっています。ショッピングモールやインターネット購入へとシフトしています。一つはどのブランドも同じような服が並び、着たい服が無いというのが理由の一つの様です。当社は元々婦人服メインで服地の生産をしていましたが、現在は紳士服に力を入れています。素材メーカーとして、従来に無い服地や皆が持っていない柄を作っていきたいと思っています。

当社は、社是に「個性を尊重し、特性を伸ばし、相互協力のもとに明るい会社を造り自らの生活を豊かにしよう」を掲げています。社員それぞれの時間を大切にしたい。当社にはファッションに対する飽くなき探究心と膨大な服地サンプル、そして美濃織の生産から脈々と受け継がれてきた技術力があります。これまでのノウハウと実績を武器に、今後も“常に前進”をモットーに躍進を続けていきたいと思っています。

### 【組合概要】

美濃織物工業協同組合

理事長 廣瀬 昇 (広瀬織布株)・代表取締役)

〒501-6077 岐阜県羽島郡笠松町天王町40番地の1

URL : <http://www.mino-orimono.net/>

組合員数：28社

主な事業：教育情報事業、福利厚生事業



# 組合紹介

## こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を行っていますので、皆様の仲間を紹介します。



### 関連合刃物協同組合

- 理事長 河村 充泰
- 組合員数 17人
- 設立年月 昭和42年3月
- 住所 関市肥田瀬345番地
- TEL 0575-22-4506
- URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp/seki-r-h/>

### ◆組合の歴史・活動



河村充泰理事長

当組合は、昭和42年3月に設立した共同工場組合です。当時は高度成長の最盛期であり、関の刃物産業は世界から注目される刃物産地として大きく成長した時代でした。一方で、刃物メーカーの工場は市街地に散在してい

て、工場の拡張スペースの確保や騒音・粉塵・排水といった環境問題を抱えていました。そこで、国が創設した「中小企業共同工場建設貸与制度」により、刃物生産業者と関連業者で工場の集約化を目指し、関市肥田瀬に中小企業共同工場が設立されたのが当組合の始まりです。県下では第1号と呼ばれる最初のモデル工場でした。

しかし、翌43年の8月に集中豪雨により工場団地に隣接する津保川の堤防が決壊。団地内に2m近くの水が流れ込み、建物や機械など全てが水に浸かるという被害を受け、組合が水没するという苦難に直面しました。その後も、オイルショックによる物価の高騰、急激な円高による価格競争力の低下、バブル崩壊と長期間の経済の低迷、原油の高騰による原材料価格の値上がりなど、幾多の困難に直面してきましたが、その都度、組合員と共に逆境を乗り越えてきました。

当組合では、共同受電のほか、共同購買や共同給油、共同給水など数多くの経済事業を実施してきました。こうした組織化によるメリットを受けた組合員の努力により、バブルの余韻が残る平成3年度の団地の規模は、19工場で全従業員数は376人、年間生産額は約70億円という状況となり、工場見学後に団地内で生産された製品を特価で買える即売所も設けていました。平成不況を経験して現在は、給油事業や即売所を廃止し、電力供給と各工場での製品の洗浄等に使う井戸水の供給を中心に事業を展開しています。また、青年部の活動も活発で、月1回の例会のほか、研修会の

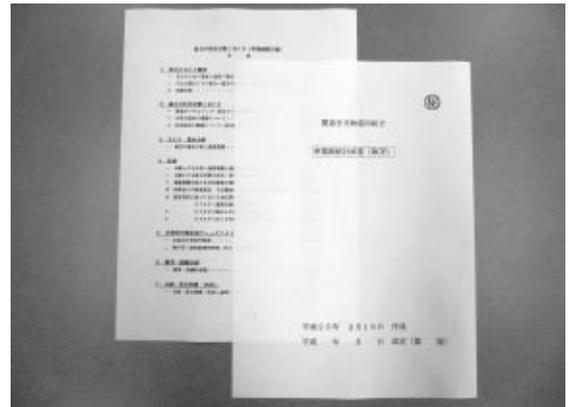
開催や奉仕作業、隔年での海外視察研修など、後継者の人材育成にも取り組んでいます。

### ◆組合が目指す方向性とは

2011年の東日本大震災以降、国や県などが事業継続計画の必要性を情報発信するようになりました。当組合では水害を経験した過去があり、緊急事態の際に組合員が事業の早期復旧を図るには組合の役割が重要であることから、中央会の支援事業を利用して平成24年度にBCPの策定に取り組みしました。そして、策定したBCPを全組合員に配布し、各企業におけるBCP策定を呼びかけている所です。

当組合の議案書には「全員精鋭主義のもと健全経営に徹し共存共栄を信条に信頼される地域協同組合として発展し併せて常に健康で明るく働きがいのある職場をつくる」という経営理念が1頁目に書かれています。当組合も半世紀という節目を迎え、高速道路網の整備により立地条件の良さから自動車関連部品製造の企業等も進出してきており、先端技術型生産拠点として発展し、地域経済の活性化に寄与することが期待されています。

河村理事長は「本組合は50年という長きに亘り組合活動に取り組んできた。昨年11月『創立50周年記念式典』を開催し、先人の努力に敬意を表すると共に半世紀の歴史を振り返り、次の50年に向けて心新たにしたい所である。組合の役割も設立当初から変わってきており、今は共同受電や共同給水をはじめ、人材育成や福利厚生事業が中心になっているが、組織の“機動性”“柔軟性”“創造性”を発揮して、共同事業の充実と各種設備の老朽化といった課題解決に向けて、団地内のインフラ整備等に注力したいと考えている。そして、組合員の利益と地場産業である『関の刃物』発展のため、全員が一致団結して頑張っていきたい」と今後の抱負を話しました。



組合で策定したBCP

※組合紹介が可能な組合がございましたら、中央会の国際・情報課までお知らせ下さい。

# ～危機の時代だからこそ、「TEAM」の力が試される～ 全国の先進組合事例

○地域の魅力発信によるグローバル需要開拓（外部組織との連携）

## 児島ジーンズストリート協同組合

（世界中から人々を呼び込める“まち”を目指して）

ポイント	事業実施にあたって地域資源の見直し、再評価が最も重要であり、加えて、参画するメンバーの合意形成や役割分担、資金調達の目処等を熟考して事業に取り組むことが必要となる。		
住所	岡山県倉敷市児島味野4047番地8		
URL	http://jeans-street.com		
電話	086-470-5056		
組合員	27人	設立	平成21年8月

### ■ 背景と目的

岡山県倉敷市児島味野地域は伝統に基づく“ものづくり文化”と共に、地域に根ざした文化的資源も多く存在するが、実際の観光客は当地域での滞在時間が短く、観光スポットや飲食店等への波及効果につながりにくいという課題があった。

このことから、当組合では、平成25年よりデニム・ジーンズをはじめとした産業資源とともに、児島を中心とした歴史的・文化的財産を融合し、魅力発信と活力ある街づくりを行うためのイベント『KOJIMA BLUE International art festival』を企画・開催することとした。

### ■ 事業・活動の内容と手法

『KOJIMA BLUE International art festival』では「児島ジーンズストリート」や近隣の児島市民交流センター、JR児島駅等も会場として、国内外の若手アーティストらが藍、デニムなど「KOJIMA BLUE」

をテーマに、歴史的・文化的財産を音楽やアートで表現する作品・パフォーマンスの展示・披露を行った。

また、地域の若者や学生、親子などによる音楽やダンスパフォーマンスの実施、デニムアート作品の展示・紹介やワークショップ、街飾りやスタンプラリーなどの様々なイベントを同時開催した。

本事業実施にあたっては、『KOJIMA BLUE International art festival』実行委員会を組織して事業の企画・運営を行うとともに、『学生作業部会』を組織し、学生に企画段階より参加してもらうことによってフレッシュなアイデアを取り入れた。

本事業実施後も『KOJIMA BLUE International art festival』実行委員会を継続組織し、地域行政や団体、民間企業等を巻き込んだ幅広い協力・協賛体制を確立するとともに、当組合の実施する「稲妻デニムフェスin児島」「せいのまち児島フェスティバル」および「せいの児島瀬戸大橋まつり」等の他のイベントとの連携も図り、継続開催につなげている。

### ■ 成果

集客ならびに来街者数増加の取組みについては、実行委員会による活動とともに、地域行政や団体、民間企業等を巻き込んだ幅広い協力・協賛体制を確立したことによって、効果的な広報活動が実施でき、来街者数の大幅な増加につなげることができた。

また、本事業実施後、当組合と地元商工会議所の連携によって空き店舗への出店希望者と店舗オーナー、不動産業者とのマッチング支援を継続実施しており、さらなる進展が期待される。

○組合事業による新たな展開（小規模事業者・個人の機会拡大）

## 企業組合であい村蔵ら

（働くデイサービス・蔵ら）で地域も高齢者も活性化！

ポイント	理事長の「町を元気にしたい」「高齢者を元気にしたい」という想いが活動の原動力となっている。想いを共有する仲間が集い、技能や経験を結集することで、「町の活性化」「高齢者の健康維持」に結実している。		
住所	静岡県加茂郡松崎町松崎319-1		
URL	http://www.wqw.jp/kurara		
電話	0558-42-0100		
組合員	27人	設立	平成25年4月

### ■ 背景と目的

町内で増加する高齢者の働く場所づくりやコミュニケーションを広げる憩いの場の確保を目的に、地元の食材を使ったワンコインランチ、弁当宅配サービス、手作り装飾品の展示や販売、小物作りの体験教室を行っている。当初はワーカーズ・コレクティブ形態で活動を開始したが、事業拡大に伴い法人化を検討し、2年の活動実績や高い団結力のもと、企業組合を設立した。設立にあたっては、静岡県中央会の支援を受けた。

### ■ 事業・活動の内容と手法

組合活動の根幹は「ものづくり」であり、組合員がこれまで培ってきた技能や経験を持ち寄って、「食事」や「手芸品・装飾品」を提供している。松崎町は健康寿命が高い地域である。高齢者の「居場所」づくりを行う

とともに、孤独がちな高齢者へ地元の新鮮な食材を使った食事（ワンコインランチや宅配弁当）を提供し、食生活の改善と心の安心を届けている。また、高齢者の手づくり手芸品や若者の作っているパン・菓子等を販売するアンテナショップの役割を担っている。

現在の組合員は27名で、すべて65歳以上の高齢者であるが、なかでも80才になる青森理事長の存在が大きい。理事長の「町を元気にしたい」「高齢者を元気にしたい」という想いと行動力が、組合活動の原動力となっている。

事業の運営は、食堂やギャラリーなど、各持ち場で担当者を割り振り、事業運営がスムーズに運ぶように工夫している。また、「食堂事業」と「手芸品や装飾品の製作事業」は同じ店舗を使うため、曜日を分けてメリハリをつけて運営するようにしている。

全員が年金受給者であり、報酬よりも日々の健康維持に重きを置いているが、今後は組合員それぞれの収入を増やすべく、販売力を高めて売上を伸ばしていく考えもある。

### ■ 成果

当組合は、別名「働くデイサービス」とも言われている。任意団体から企業組合に変わり、組合員それぞれが出資していることで、自分の組合という自覚が芽生え、従来よりもさらに仕事に励むようになった。結果、健康面でも病気をすることも少なくなり、生活に張りが出るようになった。また、個人の健康づくりだけでなく、町全体が元気になるよう、町内の他商店にも呼びかけ、「ワンコインマップ」を作成して観光客が町内を巡る仕組みづくりをするなど、まちおこしへの貢献度も高い。

# 会長新春インタビュー

平成29年、明けましておめでとうございます。年頭にあたり会員の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、アベノミクスの効果などにより日本経済は改善傾向にあると言われており、中小企業・小規模事業者においても、設備投資額の増加や倒産件数の減少など、数字上は効果が表れ始めています。しかしながら、地域や業種、事業規模によっては景況感にばらつきが見られ、加えてアメリカを始めとした世界経済の動向にも注視していく必要があり、その先行きは予断を許さない状況にあります。

こうした中で、本会では中小企業及び中小企業組合の活力ある発展のため、経営革新、技術開発、経営資源(技術力、マーケティング力、ブランド力、人材等)の確保の促進、海外を含めた新たな販路開拓及び販売方法等の様々な課題に対応する事業を行ってまいりました。

今年も会員の皆様の活動を応援しながら期待に応えていく所存です。今後ともご支援方よろしく願い申し上げます。

## 『組合のニーズに応えるパートナー・中央会』

～立ちあがろう中小企業、日本のために～

### ❖昨年を振り返って

中央会は、『組合のニーズに応えるパートナー・中央会』をスローガンに、99.9%が中小企業で占め、「中小企業は県の礎」である岐阜県において、中小企業の更なる活力強化を図るため、『立ちあがろう中小企業、日本のために』を強く訴え、組合及び中小企業のための活動を強力に行ってきた。

しかし、県内中小企業の景況感は、先行きに対する不透明感が払拭されず、景気回復を実感するまでに至っていない。中小企業全体の約7割が赤字経営と言われていたが、これは危機的状況だと思っている。日本経済を下支えしてきたのは中小企業であり、中小企業が活力を取り戻さなければ真の意味での景気回復には繋がらない。

こうした中で昨年、元中小企業庁長官の長谷川首相補佐官と面談する機会があり、中小企業は日本の礎であると伝えてきた。国も中小企業の重要性を理解し、ものづくり補助金など中小企業対策の施策を講じてくれている。

一方で、中小企業においては後継者難や事業承継といった相続に関する問題も深刻だ。経営者の平均年齢は年々高齢化していて、国内企業の3分の2が後継者不在という調査結果もある。こうした問題で優秀な中小企業が減少していくことを懸念しており、早急に有効な手立てを講じる必要がある。

### ❖今年の見通し

多くの経営者が注目しているのがアメリカ大統領の交代による経済への影響だ。そして、隣国の中国の動きにも注視していく必要がある。日本経済への影響力が大きいこの2国の動向を見ながら慎重に対応していくことが求められるだろう。

私がアジア諸国との交流を通じて実感したのは、日本の中小企業は海外から注目されているという点である。ノーベル賞の受賞者を何人も輩出する知的レベルの高い日本は、昔から外来のものを上手く取り入れ、咀嚼して新しいものを作ることに長けている。今年は新技術や新商品開発の部分において、日の丸ソリューションが生まれ、日本の力を発揮する元年になるのではないかと考えている。平成28年度補正のものづくり補助金の特色として、第四次産業革命型があり、IoTやAIを活用した事業を支援している。中小企業が生産性を上げるには効率性を高めることが重要であり、そのためにIoTやAIが役立つのではないかと。中小企業は海外市場に目を向け始めており、世界に打って出る時期に来ている。

### ❖中央会の活動と方針

今年の中央会は、『組合ブランド』を発信し、中小企業の地位向上を図る！』を支援目標として掲げている。組合という組織自体のブランド力向上を推進していく必要があることから、傘下中小企業等が持ち前の機動力を発揮して、その底力で多様に化する環境に対応し、新たな活路を切り開いていくための支援を強力に行っていきたい。

そこで、中央会の恒常的課題である巡回及び窓口相談等により把握した組合及び中小企業者のニーズに対し、柔軟かつ具体的な課題解決策を提案し、組合等の経営基盤の強化を図るための事業として、専門家派遣、研修会の実施のほか、①ものづくり補助金に係る地域事務局としての役割、②地域資源に着目した連携の発掘、③人材確保、④女性の活躍推進を重点活動4本柱として位置づけ、重点的に事業活動を展開していく。



今年の抱負を語る社会長

具体的には、地域資源の新たな需要開拓と付加価値の高い商品開発に向けた連携事業の実施、人材確保に苦勞する中小企業のために、就活前の学生を対象とした就職相談会を開催して中小企業の魅力を情報発信していく。また、女性の活用を促進するための研修会や組合事務局で重要な役割を担う女性職員の交流会などを予算化した。

中央会は“共に前進する”を合言葉に、組合が迷っている時は「中央会がバックアップするので一緒にやりましょう」と働きかけ、実行に移せるような支援体制を整えているので、積極的に活用していただきたい。

# 中央会活動

## 理事会並びに役員交流会を開催

中央会は、理事会及び講演会、並びに役員交流会を11月29日に岐阜都ホテルで開催した。

理事会には本会役員41名が出席し、来年度の事業計画及び収支予算の概案等について審議したほか、今年度の主な事業の進捗状況等について報告した。

また、岐阜県健康福祉部 子ども・女性局の鈴木裕子局長より「今求められる女性の活躍推進」をテーマに講演会を行い、理事会終了後には、古田肇岐阜県知事を迎えて役員交流会を開催した。

### 【理事会】

開会にあたり社長は「ものづくり補助金は5年目となり、周知が全体に行き届いた感じである。先日、長谷川榮一内閣総理大臣補佐官に面談した際に『中小企業は国の礎。中小企業振興をもっとすべきである』とお伝えした。中小企業や組合の減少傾向は続くと思うが、中央会は“共に前進する”を合言葉に、会員組合の方々の声を行政に伝えられるよう頑張っていきたい」とあいさつした。

続いて議案審議に入り、平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)の概案の承認について審議し、原案どおり可決決定した。また、新規加入組合等のほか、今年度の主な事業の進捗状況についても報告を行った。

なお、平成29年度第1回理事会は、4月19日(水)にふれあい福寿会館「大会議室」、第62回通常総会は、6月12日(月)の15時30分より岐阜都ホテル「ボールルーム」で開催する予定です。

新規加入組合等は次のとおり(平成28年4月22日～平成28年11月28日まで)。

※( )内は所在地、組合員数。

【1号会員】▽T・アシスト協同組合(岐阜市・10名)▽郡上木質バイオマス協同組合(郡上市・4名)▽ヒト・ケア事業協同組合(郡上市・4名)▽岐阜家電協同組合(関市・32名)

【2号会員】▽中部自動車共済協同組合岐阜県支部(岐阜市・9,985名)

【賛助会員】▽株式会社三峰陶苑(土岐市)



議案審議を行う理事会

### 【講演会】

岐阜県健康福祉部 子ども・女性局の鈴木局長は、女性の働きやすい職場について、①子育て等、家庭における役割に理解があり、尊重し合える職場、②仕事、家庭に積極的に参画・チャレンジできる職場、③中長期的なキャリアデザインを描ける職場であるとし、加えて「女性が働きやすい職場は、同時に若い男性も働きやすい職場であると言える。女性の活躍推進・イクメン・イクボスの3点セットで推進していく必要がある」と説明した。

また、今後の課題について「大介護時代の到来により、ダブルケア(親の介護と子育てが同時進行)が当たり前の時代が来る。ダイバーシティ経営が標準装備となり、取組みが遅れるほど人材確保が難しくなる」と述べた上で、「是非『岐阜県子育て支援エクセレント企業』に認定申請を検討して欲しい」と聴講者に呼び掛けた。

### 【役員交流会】

古田肇岐阜県知事をはじめ、多くの来賓が出席して役員交流会を開催した。古田知事は開会にあたり「人口減少と少子高齢化が進む中、県としても人材育成に取り組んでいく必要があることから、各務原市に『岐阜県成長産業人材育成センター』を開所した。自社の魅力をPRし、人材の確保や育成をしていくことが求められている。これからはグローバル化の時代である。岐阜県には沢山の魅力がまだまだあるので世界に直接アピールしていきたい」とあいさつした。



古田知事が来賓あいさつ

## 中小企業の官公需確保をめざしフォーラムを開催

中央会と岐阜県建設関連業団体部会(荒川晶一部会長)は、中小企業の官公需確保を支援するため、11月17日に「県官公需フォーラム」をホテルグランヴェール岐山で開催し、部会員26名が参加した。

県担当者との懇談会では、荒川部会長から公共事業予算の安定的かつ持続的な確保・拡大を求めるあいさつがあり、県土整備部の宗宮裕雄土木技監から県土木行政の状況等について説明が行われた。また、県担当者から事前に提出した要望に対する回答があり、部会員から業界の状況等が報告された。

続いて県議会幹部議員との懇談会では、松岡正人(企画経済)、篠田徹(厚生環境)、野島征夫(農林)、山本勝敏(土木)、酒向薫(教育警察)の各常任委員長、部会顧問の猫田孝県議にご出席を頂き、各部会員が業界の抱える課題等について要望した。

出席議員の方々からそれぞれ所見が述べられ、最後に猫田部会顧問は「今後は県庁の建て替え工事を始め、県有施設の整備を進めていく必要があるため、各業界の協力をお願いしたい」との話があり、懇談会を締めくくった。



県議会幹部議員との懇談会

## 組合事務局スキルアップ講座（全5回）が終了

中央会は、組合活性化に不可欠な組合事務局のスキルアップを目的に、組合事務局役職員を対象に全5回の「組合事務局スキルアップ講座」をふれあい福寿会館で開催した。

10月から11月にかけて、「基礎知識と事務・会計・情報発信・共同事業のヒントと成功事例・組合ブランド強化と組合事務局の役割」の5テーマについて、各専門家による研修を行い、延べ100人が参加した。全講座に出席した組合が3組合あるなど、組合活性化に対する事務局の意気込みが感じられた。

明治大学の森下正教授は、組合等連携組織の未来への提言として、「誇りと夢がある家・企業・組合・地域にしていく必要がある。そのためには、①若者やよそ者が集う企業・組合にしていくこと、②子供や孫も働きたくなる・跡を継ぎたくなる企業・組合づくりを目指して欲しい」とアドバイスするなど、どの講座も組合活性化に繋がるヒントが詰まっていた。



講師の説明を聞く参加者

## 小企業者組織化特別講習会を開催

中央会は、小企業者組合を対象に「労働関係法改正&助成金活用セミナー」を12月2日にふれあい福寿会館で開催し、組合事務局ら16人が参加した。

平成29年1月から改正雇用保険法をはじめ、改正育児・介護休業法、改正男女雇用機会均等法が施行されるにあたり、法改正のポイント及び雇用関係の助成金の活用について研修することを目的に開催し、特定社会保険労務士の岡本真仁氏が講師を務めた。

岡本社労士は、「助成金を活用する際は、給付を受けた後のことも考える必要がある。自社の経営や今後の事業展開等を考慮し、そこに合致する助成金があれば利用していくという姿勢で取り組んで欲しい」と参加者にアドバイスした。



岡本社労士がポイントを説明

## 組合事務局スキルアップ講座（飛騨地域版）を開催

中央会は、飛騨支所管轄の組合を対象としたテーマ別研修会を11月29日及び12月6日に高山市の市民文化会館で開催し、組合役職員ら延べ46人が参加した。

研修会は、会員組合が抱える喫緊の課題「債権保全及び回収策」を阪下弁護士が、研修テーマとしてニーズが多かった「ホームページの運用とSNSの効果的な活用法」を(株)ディックナレッジテクノの瀬上氏が説明し、組合事務局の機能強化を図った。

阪下弁護士は、債権保全策について取引の証拠化や時効の管理などを解説。また、瀬上氏は、組合ホームページを開設したが、更新やメンテナンスが滞っているケースが多い現状を伝え、SNSの活用方法やSEO対策などを紹介し、アクセス数を増やす努力とスマートフォンに対応したホームページ等の作成が求められると説明した。



多数の役職員が参加

## 「中小企業 新ものづくり・新サービス展」に県内から21社が出展

全国中央会が主催する「中小企業 新ものづくり・新サービス展」が、東京ビッグサイト（11/30～12/2）とインテックス大阪（11/14～16）で開かれ、新しいビジネスシーズを求めて5万人を超える来場者が訪れた。

新ものづくり・新サービス展とは「ものづくり補助事業」を通じて、全国の中小企業が生み出した新しい製品・技術・サービスを発表し、ビジネスマッチングを目指す展示会で、全国からおよそ1,180社が出展。本県からも東京会場に12社、大阪会場に9社が出展し、補助金を活用して開発した成果等を紹介した。

また、明治大学の齋藤孝教授をはじめ著名講師陣によるセミナーのほか、出展者によるプレゼンテーションも行われ、出展者及び来場者の新たな出会いを促進する展示会となった。



関係者によるテープカット

## ◆岐阜県中央会の支援事業を活用した組合の取り組み事例◆

岐阜県中央会では、会員組合等の新たな取り組みや施策活用の支援、経営課題の解決や組織改革の支援を行う『組合等ブランド強化支援事業』と、会員組合の資質向上を図るための研究や各種研修会等を支援する『組合等支援事業』を事業メニューとして予算化しています。

今年度、同事業を活用した組合の取り組み事例を紹介しますので、参考にいただき、両事業の活用についてご検討ください。

### ○組合等ブランド強化支援事業

#### 岐阜県電器商業組合（瀬上達弥理事長）

【テーマ】 『組合の魅力向上・活性化に向けて』

【専門家】 今尾会計事務所 所長 今尾信一郎 氏（税理士／行政書士）

【事業活用の経緯】

近年、組合員が著しく減少し、賦課金収入が減少する中で、組合の財政基盤の安定化を図るため、昨年度、組合を非出資組合から出資組合に移行し、経済事業として組合員が取り扱う商品の長期保証に関する事業を開始した。

理事長、副理事長をはじめとする組合執行部が、支部を通じて組合員の長期保証制度の利用率の向上に努めていたが、利用率は伸び悩んでいた。このため、長期保証制度の利用率を高めるための方策、これに伴う組合財政基盤を強化することで組合の価値向上を図ることを目的に、当事業を活用するに至った。

【実施内容／成果】

長期保証制度の普及率の向上と支部の活性化を中心に、組合の活性化、組合の価値向上を図るための将来5年間にわたる取り組みを明確化した「中期計画」を策定した。

【理事長の声】

組合が置かれている現状を改めて理解、危機感を持たなければいけないことを再認識した。組合の「中期計画」を策定したことで、組合の課題とそれに対する将来に向けての重点的取り組み事項、優先して取り組むべき事項を“見える化”することができた。今後、機関決定を経て執行部や事務局だけでなく組合員にも計画を提示、周知し、組合の進むべき方向性のあるべき姿を共有する。



### ○組合等活動支援事業

#### 岐阜県菓子工業組合（渡辺良治理事長）

【テーマ】 『新しい和菓子製造技術の習得』

【専門家】 有限会社とも栄菓舗 代表取締役 西沢 勝治 氏

【事業活用の経緯】

和菓子業界は、後継者不足や観光葬祭の簡素化、郊外型SCの乱立等による客足の変化、また異業種からの和菓子業界参入などの影響により厳しい状況にある。こうした中で、地方の菓子製造業者が生き残っていくためには、商品力を高め、オリジナル商品を提供するなど新たな固定客を獲得することが重要であることから、組合で和菓子技術講習会を開催するため、当事業を活用するに至った。

【実施内容／成果】

国内有名店の職人から、伝統を重んじながらも最新で独創的なお菓子のレシピや製造方法を学んだ。秋向けの和菓子6種類について、素材の特徴や配合、製造する際のポイントなどを学習し、組合員店舗の新たな商品アイテムに追加された。

【役員の声】

「現代の名工」に選ばれた西沢講師から、新しい和菓子の技術を学ぼうと組合員の従業員ら50人以上の参加があり、有意義な技術講習会が開催できた。繁盛店の成功のポイントから仕入に関するアドバイスまで、限られた時間の中で貴重な体験が出来たと思う。今回の講習で学んだ技術をベースに参加者がアレンジを加えて、新しいお菓子が誕生することを期待したい。



# 組合等活動

## 関連合刃物(協)が創立50周年記念式典を開催

関連合刃物協同組合(河村充泰理事長)

関連合刃物協同組合は、組合創立50周年記念式典並びに祝賀懇親会を11月13日に関市の関観光ホテルで開催し、来賓や組合員など約80人が出席した。

式典の開会にあたり河村理事長は、「次なる50年に向かって発展出来るよう、共同事業の充実と課題解決に取り組んでいきたい」とあいさつした。続いて、土岐邦彦顧問が組合の50年を振り返り、昭和42年に市街地に散在していた刃物メーカー等の工場を集団化し、工場団地としてスタートしたが、翌年には集中豪雨で隣接する津保川が氾濫し、工場が水没する苦難を乗り越えた歴史などを紹介した。次に組合功労者及び組合優良職員に対する県知事表彰と従業員永年勤続者に対する表彰を行い、その功績を称えた。

また、祝賀懇親会では、賑やかな雰囲気の中で関係者らが半世紀という大きな節目を祝い、今後の更なる発展を誓った。



挨拶する河村理事長

## 明治大学でカレーによる地域おこしの事例発表

奥美濃カレー協同組合(簗哲朗理事長)

奥美濃カレー協同組合は、地元の食材や味噌を使用した「奥美濃カレー」を地域団体商標に登録しており、ご当地グルメを通じて郡上の認知度向上や地域振興につなげる「奥美濃カレープロジェクト」に取り組んでいる。

同組合では、2007年より明治大学商学部の中川秀一教授ゼミナールと事業提携し、学生がフィールドワークとして毎年郡上に滞在し、奥美濃カレーのイメージ調査やキャラクター「Cちゃん」を考案した他、イベント出展や学園祭等でPRに努めてきた。

今年は事業提携10周年を迎えることもあり、同ゼミ主催による「カレーによるまちの活性化フォーラム」が11月22日に開催された。簗理事長は組合活動報告やパネルディスカッションに参加し、「よこすか海軍カレー」を運営する横須賀市の担当者も交えて活発な意見交換を行った。

簗理事長は「こうした取り組みを通じて、多くの人に奥美濃カレーに愛着を持ってもらい、郡上の地域おこしに繋がることを願って今後も活動を展開していきたい」と今後の抱負を話した。



フォーラムの様子

## 関商工高校の生徒を対象に講義を実施

岐阜県中古自動車販売商工組合(岩瀬晃彦理事長)

岐阜県中古自動車販売商工組合(JU岐阜)は、(一社)岐阜県自動車整備振興会との共催により、12月8日に関市立関商工高等学校の機械科2年生を対象に「自動車産業界の現状・自動車メンテナンス技術講習」をテーマに講義を行った。

同事業は昨年度から始めた活動で、今回が2回目。高校生に対する講義を通じて自動車や自動車産業界に興味・関心を持ってもらい、今後の学校生活と進路選択の参考に役立ててもらおうことを目的としている。当日はJU岐阜中濃支部から集まった専任スタッフ20名が講師を務め、支部長を務める(株)アイミヤ自動車の相宮社長は「生徒の皆さんの記憶に残るような講義にしたい」とあいさつし、約80人の生徒が4班に分かれてエンジンルームの点検やタイヤ交換など、実車を使った技術講習に取り組んだ。

前回の講座を受けた現3年生の中には将来は自動車関係にという生徒も何人かいるとのことで、組合ではこうした活動が他の地域にも広がっていくことを期待している。



タイヤ交換に挑む生徒

## 「工業高校生金型コンテスト」を初開催

岐阜県金型工業組合(黒田隆理事長)

岐阜県金型工業組合は、県内の工業高校の生徒が金型の設計から製品製造という一連の工程を通して、ものづくり技術や技能を習得すると共に、県内の金型企業の人材確保・定着を目的に「第1回工業高校生金型コンテスト」を開催した。

県内の工業関連学科に在籍する生徒が、組合員企業のサポートを受けながら、学習した技術・技能を駆使して「金型」を製作、この金型をもとに地域らしさを表した製品を作るといった課題に取り組み、射出部門とプレス部門に10校がエントリーした。12月10日に岐阜県立国際たくみアカデミーで審査と表彰式が行われ、優秀賞には高山工業高校(プレス部門)と岐阜工業高校(射出部門)が選ばれたほか、金型に工夫が凝らされていた岐阜第一高校に理事長賞が贈られた。

黒田理事長は、「組合員の協力もあって、どの製品も甲乙付け難く素晴らしかった。金型づくりを通して社会的役割やものづくりの面白さ、完成した時の喜びなどが学べたと思う」と感想を話した。



生徒の説明を聞く審査員

## 岐阜県環境整備事業(協)が岐阜県環境会館本館を新築

岐阜県環境整備事業協同組合(牧野好晃理事長)

岐阜県環境整備事業協同組合は、岐阜市六条大溝にある岐阜県環境会館旧本館を取り壊し、新本館建設を行い、8月より新規一転、組合活動に取り組んでいる。

同組合では、昭和63年に現在の地に岐阜県環境会館を建設し、その後、第2会館と第3会館を整備して、業界の中核機能の役割を担ってきた。新会館は4階建てで第2会館と渡り廊下で繋がっており、組合事務局のほか3つの団体等が入居していて、約200名が入れる会議室も設けられている。

牧野理事長は、「当組合は昭和48年に設立し、水環境保全や生活排水処理について規範意識を高め、住民から信頼される適正業務に務めてきた。平成8年度には県内下水道整備が計画・実施されている市町村と合理化協定を締結し、安定的に継続した適正な業務を実行している。現在、日本は人口減少社会へと突入し、業界を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、組合活動のより一層の充実を目指して新会館の建設を行った。浄化槽3業種もタブレットを用いて連携した維持管理を行い、水再生業者として新たな段階に入っている。新たな信頼が得られるよう一致団結して前進していきたい」と感想を述べた。



新築した岐阜県環境会館本館

## 美濃焼新春見本市で新作を披露

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会(河口一理事長)

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会に所属する13組合は、多治見市、土岐市、瑞浪市の4会場で新春恒例の「2017年美濃焼新春見本市」を開催した。この見本市は、各事業所が開発した新商品やオリジナル商品を地元商社等にアピールする場として毎年開催しており、その年の業界の景況を占う催しとしても注目されている。

1月6、7日は、多治見市のセラミックパークMINOで、笠原・滝呂・市之倉・高田の各陶磁器工業(協)が、土岐市のセラトピア土岐では、土岐津・泉・肥田・土岐津西部・下石・妻木の各陶磁器工業(協)が共同で開催したほか、駄知陶磁器工業(協)は、駄知体育館で単独開催した。また11、12日には、瑞浪・恵那の両陶磁器工業(協)が瑞浪市総合文化センターで新作を披露し、翌13日には今回が初の試みとなる一般開放も実施するなど、どの会場も大勢のバイヤーが訪れ、各ブースでは活発に商談が行われていた。

なお、今年の秋には多治見市で3年に一度の祭典「国際陶磁器フェスティバル」が開催される。



新春見本市で新作を披露

## 2組合が「中小企業組合等活路開拓事業」に取り組む

土岐市陶磁器卸商業協同組合(齊木克躬理事長)  
岐阜県陶磁器工業協同組合連合会(河口一理事長)

土岐市陶磁器卸商業協同組合は、10月27日から3日間、シンガポールのサンテックシンガポールで開催された「Food Japan2016」に出展した。同展示会は、日本の食をテーマにしたASEAN市場最大の展示会で、組合で5ブース(組合員5社)を出展し、美濃焼食器を現地の外食産業やバイヤー等に提案した。

組合では、陶磁器業界の需要の冷え込みに対し、新たな販路を海外に求めるため、数年前から海外展開に力を入れており、今回は全国中央会の中小企業等活路開拓事業(展示会)を活用して出展を行った。

齊木理事長は、「今後の内需の減少に対し、海外展開は必要。今回の出展で日本の美濃焼と和食の文化を表現し、一緒に提案できた。新たな商機で業界の発展に役立てたい」と期待を寄せた。

また、岐阜県陶磁器工業協同組合連合会も中小企業等活路開拓事業(展示会)を活用して、11月10日から3日間、香港コンベンション&エキシビジョンセンターで開催された「香港インターナショナル ワイン&スピリッツフェア2016」に、昨年度に続いて出展した。

同連合会では、日本酒の輸出量の増加に伴い、日本を代表する酒器として「美濃焼酒器」を海外に提案するため、世界約40ヶ国の酒造メーカーや卸業者等から、酒類や関連商品が集まる同フェアに2ブースを出展した。

事業委員長を務める伊藤克紀副理事長は、「美濃焼酒器の評価は高いが、改めて海外で酒器などの求評ができた。また、2回目の今回は多くの商談や引合いがあり、手応えを感じている。今後、商社等との協力や流通なども考え、成果を活かしていきたい」と感想を述べた。



出展ブース



# 景況レポート

平成28年  
12月末調査  
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名  
(うち70名分の集計)の情報連絡票から

## 〔I〕12月の特色

- ◆景況感DI値マイナス23 ～前月比横ばい～
- ◆売上高DI値マイナス6 ～2ヶ月連続で改善～
- ◆円安、原油高、原材料価格の値上げ、アメリカ経済の動向について懸念

## 〔II〕12月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値でみると、好転4、悪化27で、DI値はマイナス23となり、前月のDI値マイナス23に対し、±0の横ばいとなった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値でみると、製造業のDI値はマイナス28となり、前月比で8ポイントの悪化、非製造業のDI値はマイナス18となり、前月比で9ポイントの改善となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、可児工業団地、長良川畔旅館、高山旅館の3業種(前月比±0業種)。

また、「悪化」と回答した業種は19業種(前月比±0業種)あり、特に窯業・土石、卸売業の区分で多かった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス6で前月比3ポイントの改善、販売価格DI値はマイナス7で前月比±0の横ばい、収益状況DI値はマイナス24で前月比4ポイントの悪化、資金繰りDI値はマイナス7で前月比±0の横ばいとなった。

コメントを見ると、製造業では、「現在は若干円安状況

にあり、バイヤーズシーズンのこの時期、安定した為替環境で推移することを願っている。(刃物等金属製品(輸出))」、「最近の円安により今後は持ち直しが期待される。(県金属工業団地)」など、円安による景況感好転への期待感を伝える内容が報告された一方で、「為替の円安傾向が続くと、輸入原材料調達コストが高くなり、さらなる収益への影響も危惧され、先行きはさらに厳しさが増すと思われる。(家具)」、「米大統領の就任により世界経済がどのようになるのか関心が高まっている。原油高による燃油コストの上昇も気になる。(メッキ)」など、円安や原油高、原材料価格の値上げ、アメリカ経済の動向について先行きを懸念する声もあった。

非製造業では、天候や年末商戦に関して、「年末年始の行事用の商品販売があり、12月は売上が増加。(貸植木業)」など、プラスの内容が報告された一方で、「年々、おせち料理の注文が少なくなってきている。(水産物)」、「暖冬で雪が降らず、雪を楽しみに来た外国人観光客は期待外れとなった。(高山旅館)」など、マイナスの内容も報告された。

その他、「現場オペレーターは人材不足。(鋳物)」、「恒常的な職人不足で、業界での検討が必要と思われる。(室内装飾)」、「人員不足が慢性化している。(貨物運送(岐阜地区))」など、人手不足を伝える内容が報告された。

## <主な調査項目での動向>

**売上高の動向**は、前年同月比で増加24、減少30でDI値はマイナス6となり、前月のマイナス9に対し、3ポイントの改善となった。

売上高が増加した業種は17業種(前月比+2業種)あり、米菓、メンズアパレル、縫製(既製服)、銘木、機械すき和紙、紙加工品、陶磁器(工業)、可児工業団地、機械・工具販売、共同店舗(飛騨)、長良川畔旅館、高山旅館、土木(岐阜地区)、電気工事、木造建築、軽運送、貸植木業である。

売上が減少した業種は21業種(前月比±0業種)あり、特に卸売業、商店街の区分で多かった。

**販売価格の動向**は、前年同月比で上昇5、低下12でDI値はマイナス7となり、前月のマイナス7に対し、±0の横ばいとなった。

販売価格が上昇した業種は4業種(前月比-2業種)あり、特殊紙、青果販売、石油製品販売、高山旅館である。

販売価格が低下した業種は9業種(前月比-2業種)となった。

**収益状況の動向**は、前年同月比で好転10、悪化34でDI値はマイナス24となり、前月のマイナス20に対し、4ポイントの悪化となった。

収益状況が好転した業種は7業種(前月比-2業種)あり、縫製(既製服)、機械すき和紙、紙加工品、プラスチック、可児工業団地、高山旅館、木造建築である。

収益状況が悪化した業種は24業種(前月比+1業種)あり、特に窯業・土石、鉄鋼・金属、卸売業、商店街の区分で多かった。

**資金繰りの動向**は、前年同月比で好転4、悪化11でDI値はマイナス7となり、前月のマイナス7に対し、±0の横ばいとなった。

資金繰りが好転した業種は3業種(前月比±0業種)あり、プラスチック、可児工業団地、高山旅館である。

資金繰りが悪化した業種は8業種(前月比±0業種)となった。



# 県内中小企業

(12月末調査)

## 主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳		△	△	△	△	△	△
	食肉(国産)		△	△	△	△	△	△
	菓子		△	△	△	▲	△	△
	米		○	△	△	△	○	△
	製麺		△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	燃糸		△	△	△	△	△	△
	ニット工業		△	△	△	△	△	△
	毛織物		△	△	△	△	△	△
	合成繊維織物		▲	△	▲	△	△	▲
	メンズアパレル		○	△	△	△	△	△
	婦人・子供服		▲	▲	▲	▲	△	▲
	縫製(既製服)		○	△	○	△	△	▲
木材・木製品	製材		△	△	△	△	△	△
	銘木		○	△	△	△	△	△
	家具		△	△	▲	△	△	△
	東濃ひのき		▲	△	▲	△	△	▲
紙紙加工品	機械すき和紙		○	△	○	△	○	△
	特殊紙		▲	○	▲	▲	○	▲
	紙加工品		○	△	○	△	△	△
印刷	印刷		▲	▲	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック		△	▲	○	○	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)		○	△	△	△	△	△
	タイル		△	△	▲	△	△	▲
	窯業原料		△	△	△	△	△	△
	石灰		▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート		△	△	△	△	△	△
	砂利生産		▲	△	▲	△	△	▲
	砕石生産		▲	△	▲	△	△	▲
鉄鋼・金属	鋳物		△	△	▲	△	△	△
	刃物等金属製品(輸出)		△	△	▲	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)		△	△	△	△	△	△
	メッキ		▲	△	▲	△	△	▲
一般機械	県金属工業団地		△	△	△	△	△	△
	可児工業団地		○	▲	○	○	▲	○
	金型		△	△	△	△	△	△
輸送用機器	輸送用機器		△	△	△	△	△	△

非製造業		前年同月比							
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感	
卸売業	電設資材卸		▲	△	▲	△	△	▲	
	陶磁器産地卸		▲	△	▲	△	▲	▲	
	機械・工具販売		○	△	△	△	△	△	
小売業	青果販売		△	○	△	△	△	△	
	水産物商業		▲	△	▲	△	○	△	
	家電機器販売		△	△	△	△	△	△	
	メガネ販売		△	△	△	△	△	△	
	中古自動車販売		▲	▲	▲	▲	▲	△	
	石油製品販売		△	○	△	△	△	△	
	共同店舗(飛騨)		○	△	△	△	△	△	
	生花販売		△	△	△	△	△	△	
商店街	岐阜市商店街		▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	大垣市商店街		△	△	△	△	△	△	
	高山市商店街		▲	△	▲	△	△	△	
サービス業	自動車車体整備		△	△	△	△	△	▲	
	長良川畔旅館		○	△	△	△	▲	○	
	下呂温泉旅館		▲	△	△	△	△	△	
	高山旅館		○	○	○	○	△	○	
	クリーニング		△	△	△	△	△	△	
	広告美術		△	△	△	△	△	△	
	旅行業		▲	△	▲	△	△	△	
	理容・美容業		▲	△	△	△	△	△	
	建設業	土木(岐阜地区)		○	▲	▲	△	△	▲
		土木(飛騨地区)		▲	△	▲	▲	▲	▲
建築設計			▲	▲	▲	▲	△	▲	
鉄構造物			△	△	△	△	△	△	
電気工事			○	△	△	△	△	△	
管設備工事			△	△	△	△	△	△	
建築板金			△	△	△	△	△	△	
室内装飾			△	△	△	△	△	△	
木造建築			○	△	○	△	▲	△	
運輸業		貨物運送(県域)		▲	△	▲	△	△	▲
	軽運送		○	△	△	△	△	△	
その他の非製造業	貸植木業		○	△	△	△	○	△	

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]  
 △: [不変]  
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

中央会職員が日々の仕事や生活を行う中で感じていることなどを綴る「職員レポート」。第17回は中央会事務局の“リードオフマン”安田係長に筆を執っていただきました。



## 仕事と趣味と私。「楽しむ」がキーワード!

国際・情報課 係長 安田 真也

新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

さて、私も中央会に入職して間もなく19年が経過しようとしています。大学を卒業して旅行会社に就職し、その後、縁あって中央会に転職をしました。2年間続けてきた手配旅行の営業と添乗に明け暮れた毎日から一転して、1人1台のPCが用意された事務所内での仕事を中心となり、社会人生活が一変しました。

最初に配属されたのは広報振興チーム。機関紙の作成や全国大会参加者の取り纏め、研修会の開催など、先輩の仕事を手伝いながら中央会の仕事を学びました。それから2年間の本部勤務を経て、飛騨支所に異動となりましたが、支所での2年間は孤独の毎日でした。知り合いが誰一人おらず、何をすることも一人ぼっち。風邪をひけば苦しい時間を耐え続けるだけ。おまけに冬になると深々と雪が降り、朝早く起きて一人雪掻きをする日もありました。でも、高山での生活を今懐かしく思えるのは何故でしょうか??

支所での勤務から本部勤務へと戻り、再び広報関係を担当しました。そして32歳で結婚。2児の父親となり瞬く間に40代へと突入。その間、青年中央会や官公需関連等の担当も経験し、俗にいう円熟期を迎えた所です。

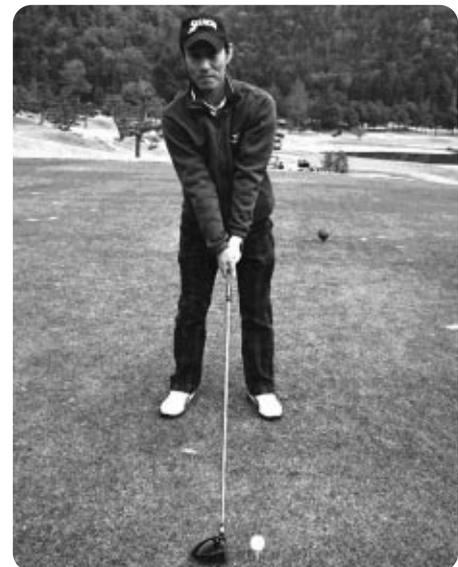
私は自分の人生を楽しむことを常に意識しています。人生を楽しむという枠の中に仕事や家庭、趣味などが存在していて、その楽しさレベルに応じて自分のモチベーションが決まっています。こう思うようになった一つに「野球」との出会いがあります。私は小学校から高校まで野球に青春を捧げてきました。高校3年の夏の大会には仲間と運に助けられ、決勝戦という舞台も経験させてもらいました。残念ながら甲子園の土は踏めませんでしたが、野球を通じて上下関係や厳しい練習を耐え抜く忍耐力が磨かれ、そして大切な仲間を得ることが出来ました。今は地元の野球チームや高校野球のOB大会などに参加して、白球を追い続けた仲間達と交流を深めています。野球から楽しむことを教えられました。

もう一つ、私が今一番はまっているものは「ゴルフ」です。団体競技で育った私は、個人スポーツの魅力にとりつかれ、月1ゴルファーとして余暇を楽しんでいます。ゴルフを通じて新たな出会いがあり、老若男女が同じフィールドでプレーするので本当に楽しいです。

私の好きな言葉に相田みつをの“感動とは感じて動くと書くんだなあ”という名言があります。人それぞれこの言葉の捉え方は違うと思いますが、私は「人からの頼まれごとやその人にとって利益になると思ったら自ら行動し、その人の喜びにより自分も感動が得られるのだ」と解釈しています。折り返し点を過ぎた残りの人生も、充実した楽しい毎日を送るべく、周りから頼りにされ、その期待に応えられるよう努力したいと思います。

中央会の業務は多種多様ですが、どの仕事も組合傘下の中小企業及び小規模事業者の持続・発展を応援するものばかりです。そして、組合が元気になる事が県内経済、日本経済の活性化に繋がると信じています。自分が携わった組合や組合員の方々には『ありがとう。安田君が担当で良かった』と言ってもらえる事がこの仕事をしていて良かったと思える瞬間なので、今後もこうした仕事を続けたいと思っています。岐阜県中央会は個性派揃いの集団です。そして、皆様の期待に応えられる人材の宝庫ですので、相談事は“先ずは中央会”を念頭に置いて頂き、是非ご活用下さい。

あれ…、僕の人生、振り返ってみると「2」に縁があるかも…。野球は準優勝、旅行会社と最初の本部勤務、高山での生活が2年。子供も2人!そういえば、小学校の水泳大会やソフトボール投げも町で2位だったなあ…。ということで、これからは数字の「2」を大切にします♪



ゴルフの基本はアドレス

## 最低賃金改正のお知らせ 厚生労働省・岐阜労働局

最低賃金が下記のように改正されました。  
(太文字が改正部分)

最低賃金の名称	最低賃金の額	効力発生の日
岐阜県最低賃金	<b>時間額 776円</b>	<b>平成28年10月1日</b>
特定(産業別)最低賃金		
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具 情報通信機械器具製造業	<b>時間額 829円</b>	<b>平成28年12月21日</b>
自動車・同附属品製造業	<b>時間額 872円</b>	
航空機・同附属品製造業	<b>時間額 917円</b>	

詳しくは、岐阜労働局賃金室 (☎:058-245-8104) 又はお近くの労働基準監督署までお尋ねください。

## 辻正会長が商工中金より感謝状

本会の辻正会長は、株式会社商工組合中央金庫(安達健祐社長)が創立80周年を迎えるにあたり、永年にわたり地域・中小企業界の発展に尽力したことなどの貢献が称えられ、感謝状が贈呈されました。

12月13日に商工中金岐阜支店の大谷支店長が本会を訪れ、辻会長に感謝状が手渡されました。



## あけましておめでとうございます

昨年は、本会の事業運営に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

今年は「丁酉」。60年前の1957年は、五千円紙幣や百円硬貨が発行され、日本初の原子力発電の成功やロケット発射実験の成功など、科学的探究を続けてきた成果が結実した年だったようです。今年も新しい日本初が誕生する一年になることを期待しましょう。

さて、本会では今年も“組合のニーズに応えるパートナー・中央会”をスローガンに、会員組合の皆様方の生の声を聞き、ニーズに応じた支援に取り組んでいく所存です。

また、皆様に本誌を活用いただくため、掲載記事の見直しを行っておりますので、ご意見やご提案をお寄せいただくとともに、組合員の皆様への情報提供などにご活用いただけますようお願い申し上げます。

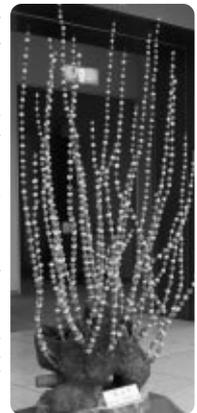
末筆となりましたが、本誌「年賀広告」に多数のご協賛をいただき、誠にありがとうございました。



## 今年も「花もち」をいただきました

高山市公設市場買受人協同組合(林利夫理事長)より、飛騨の正月を彩る「花もち」を寄贈していただきました。今年もふれあい福寿会館のご厚意で、来館者の皆様にもご覧いただけるよう会館2階ロビーに展示していただきました。

林理事長はじめ、組合役職員、組合員の皆様にお礼申し上げます。



## 中央会日誌

### <11月21日~30日>

- 25日 経済団体等情報交換会議 (ワークプラザ岐阜)
- 29日 中央会理事会・役員交流会 (岐阜都ホテル)
- 第37回岐阜県職業能力開発促進大会 (ぎふ清流文化プラザ)
- 全国中小企業団体中央会60周年記念式典 (ANAインターコンチネンタルホテル東京)

### <12月1日~28日>

- 14日 清流の国ぎふ女性の活躍推進会議 設立会議 (岐阜県庁)
- 岐阜中金会経営者セミナー (ホテルパーク)
- 20日 若年技能者人材育成支援事業等に係る第2回連携推進会議 (県人材開発支援センター)

### <1月1日~20日>

- 10日 岐阜県地域活性化ファンド検討会議 (ふれあい福寿会館)
- 17日 第11回技能実習生等受入適正化推進会議 (グランヴェール岐山)



はじめての海外進出に、  
今度こそ成功させたい輸出に、  
頼れるパートナーがいます。



商社やメーカーで海外事業の実績を積んだ、  
各分野の専門家が貴社の味方に。

利用  
無料

専門家による個別支援サービス

**新輸出大国コンソーシアム**

新輸出大国

検索

0120-95-3375 受付時間：平日 9:00~18:00 [www.jetro.go.jp/consortium/](http://www.jetro.go.jp/consortium/)



「新輸出大国コンソーシアム」は、政府系機関、商工会議所、地域の金融機関などの支援機関が連携し、海外経験豊富な専門家の知見も活用しながら中堅・中小企業に寄り添って海外展開を支援する体制です。ジェトロが事務局を務めています。

# 海外展開をご検討中なら、 どんなことでもご相談ください。



こんなことまで  
相談できるん  
ですね？

- 海外展開したいが本当に行くべきか迷っている。
- 海外展開を決めたが何から始めるべきかわからない。
- 行き当たりばったりではなく、きちんとした計画を立てて進めたい。
- FS調査、コストシミュレーションを実施したい。
- 物件、人材、現地パートナー、新規顧客を探したい。
- 輸出実務、法人登記、契約締結などの手続きがわからない。
- 何を相談していいかもわからない。

## 新輸出大国コンソーシアムとは？

「新輸出大国コンソーシアム」は、政府系機関、商工会議所、地域の金融機関などの支援機関が連携し、海外経験豊富な専門家の知見も活用しながら中堅・中小企業に寄り添って海外展開を支援する体制です。

### 🌐 海外支援をワンストップで！

これまで各々の機関が行っていた支援サービスを連携させ、海外展開についてのあらゆる不安や疑問の解決につなげます。

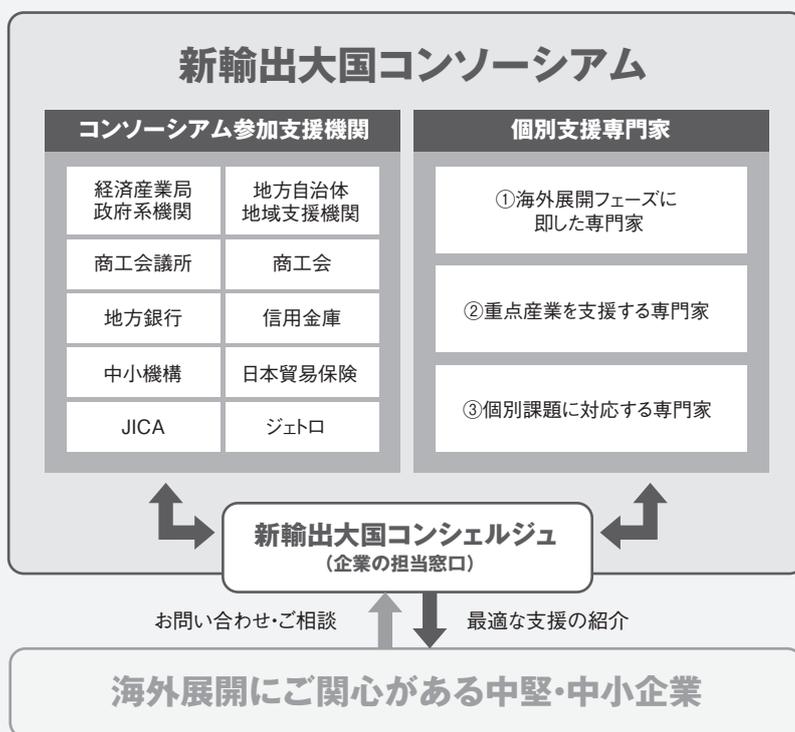
### 🌐 各分野の優れた専門家を活用！

海外展開フェーズに即した専門家、重点産業を支援する専門家、個別課題に対応する専門家が企業のニーズにあわせて、海外展開をサポートします。

※専門家の相談料、国内外出張費はジェトロが負担します。

### 🌐 貴社担当のコンシェルジュがつく！

貴社にとって最適な支援メニューや人選をサポートします。どんな小さな不安や疑問にも丁寧にお答えします。



**利用  
無料**

これまでの成功事例も多数紹介いたします。  
まずはお気軽にご連絡ください。

ジェトロの  
サポートホットライン

**0120-95-3375**

[www.jetro.go.jp/consortium/](http://www.jetro.go.jp/consortium/)

受付時間：平日  
9:00~18:00



# 地域の中小企業を、 もっと前へ。

魅力ある資源や地元で育まれたノウハウで、地域経済を盛り上げる中小企業のみなさま。  
商工中金は積み重ねてきたノウハウをもとに、地域の関係機関と連携しながら、  
みなさまの夢をしっかりとバックアップし、豊かな地域社会の実現に貢献していきます。

# 商工中金



個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定  
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利  
(元本保証)

1年、2年、3年から  
期間が選べる

\\ 安心、確実、お得に増やす //

定期預金 **マイハーベスト**

おかげさまで80周年

80<sup>th</sup>

商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする公的金融機関です。  
お客さまとともに、地域活性化に全国で取り組んでいます。

岐阜支店 058(263)9191 〒500-8828 岐阜市若宮町 9-16



人を思う。未来を思う。

商工中金

この広報誌は岐阜県からの助成を受けています。